

# 歯石除去(スケーリング)について



## スケーリングの目的

- ①歯石の除去、口臭の軽減
- ②歯周病の予防・治療
- ③口腔内の健康診断

避妊・去勢など、他の手術とも併せて実施できます。ただし、症状によってはお受けできない場合もありますので、ご了承ください。



## スケーリングのデメリット

- ①全身麻酔のリスク（年齢、健康状態により変化します）
- ②スケーリング後にお手入れしなければ、歯石は再度付着する
- ③**抜歯の可能性**（通常は日帰り入院、抜歯本数が多い場合は1泊入院）



歯石を除去する際、著しく揺らぐ歯については抜歯をします。ぐらぐらの歯は痛みの原因であり、歯としての機能も失われています。犬や猫の歯は食べ物を飲み込みやすい大きさに分けるためのものなので、適切な大きさ硬さのフードを選択すれば抜歯しても問題は少ないです。



## スケーリング適期

- 『スケーリングを受けるペットが元気で、食欲があるとき』
- 『歯周病が重症化した後よりも、歯周病になる前が望ましい』
- 『高齢になるほど麻酔のリスクは高くなる』

※術前検査と術中の十分なケアを行えば、中年期以降でもスケーリングは可能です。



歯根尖部膿瘍



歯肉炎

### 歯石と病気

歯石の付着は、臭いや口腔内環境だけの問題ではありません。歯周病・歯肉炎が進行すると食欲がなくなったり、細菌が血液にのって全身に運ばれ、さまざまな疾病の原因になります。また、歯の根が化膿し（歯根尖部膿瘍）頬に穴が開くこともあります。